

提案名	「木を大切に使う家」プロジェクト 「とかいなか」に暮らす・北のまちなみ	分野	木造等循環型社会形成 の分野 まちなみ・住環境の分野
提案者	スウェーデンハウス株式会社	種別	システム提案
構造	木造住宅（枠組壁工法）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

良質で長期にわたって資産価値の高い住宅を供給するための先導的提案

快適性、省エネ性、経済性をバランス良く持続させるためには、基本性能が高く、維持管理性が容易であり、維持管理の方法が標準化されていることが重要であり、これらを備えた住宅が長期優良住宅であると考えます。

「木を大切に使う家」プロジェクトでは、長期優良住宅に必要な基本性能を高い次元で満たした上で、木造住宅の主材料である木を長持ちさせる提案及び、既存物件の木材の乾燥状態が継続しているか調査を行う。

「とかいなか」に暮らす・北のまちなみでは建築協定に拠って守られている統一性のある空間・色彩・形が高い満足で住み続けられる環境の維持と、長期に住まい続けるための工夫をいたるところに盛り込んでいる。

■提案内容

「木を大切に使う家」プロジェクト

1. 新しい技術の導入及び環境に配慮した材料の採用
  - ・ 寸法精度が高く環境に配慮したエンジニアリングウッド構造材の採用
  - ・ テラス、バルコニーの劣化対策として国産木材のサーモウッドを採用
  - ・ 糊釘が必要なく、改修が容易なフローリング連結方法ウッドロックシステムの採用
  - ・ 主要木材について「再生可能な森林から産出された木材」を使用する
  - ・ 防腐、防蟻に有効な薬剤として効果の持続性が高いホウ酸を使用する
2. 標準化の推進
  - ・ 改修を容易にするため構造材、造作材の断面寸法を統一する
  - ・ 改修を容易にするため窓、内部ドアの寸法を標準化する
3. メンテナンス技術の確立
  - ・ 外壁と木製窓が分離して交換できるシステムの構築
  - ・ 木製品メンテナンスについてケース別補修方法の確立
  - ・ ホームドクター制度の強化（50年間無料検診制度の推進）
4. 壁体内状態の検証
  - ・ 通気工法による夏型結露対策の検証
  - ・ 既存物件の壁体内乾燥状況の調査確認

### 「とかいなか」に暮らす・北のまちなみ

1. 北欧・スウェーデンの都市との文化交流の拠点
2. 「とかいなか」の実現による本物のライフスタイル
3. 高い意識で守り継がれる「建築協定ルール」
4. エコな住宅・エコな生活・おもいやりコミュニティーでスローライフ
5. 冬場の丁寧な除雪・夏場の環境維持・安全管理体制の管理センター機能
6. かかりつけ医療機関に代替する「遠隔医療システムプロジェクト」の実験導入

#### ■提案者からのコメント

#### 「木を大切に使う家」プロジェクト

日本においては木造住宅の人気の高いが、木材は生産時のエネルギーが少なく、計画的な生産により枯渇しない資源として優れている。しかし、同じ木造住宅でも個々には耐久性に差があり、その寿命を延ばしていく技術の開発と定着が肝要であると考えている。

### 「とかいなか」に暮らす・北のまちなみ

全国的に田舎暮らしの地域は多くあるが、実際に移住する上で不便な場所には住みにくい。北の都に隣接した本提案の当別町は田舎の魅力と都会の利便性を兼ね備えた希少なエリアであり、「建築協定」を尊重した住民のモラルと長く住み継ぐ考え方を有する街並みづくりに取り組んでいる。

